

■ 情報空間ガバナンスの問題 – チーム脳の活性化 近年の情報技術の発展によって、情報を検索したり、自ら発信することは身近になりましたが、そのように入手・生成した大量の情報の

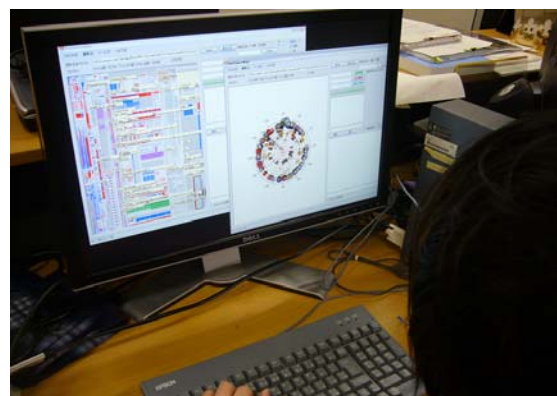


管理は大変になる一方です。本研究室では「情報空間にコントロールを導入する」という視点からアプローチし、データベース技術によって支援を行う「情報空間ガバナンスプロジェクト」を推進しています。情報空間ガバナンスとは、情報空間内での人や情報の関係を把握し、その状態と流通を制御する事であり、本プロジェクトでは、特にそれを実現するためのソフトウェア技術を研究しています。知的活動を行うコミュニティにおける情報空間を「チーム脳」と例えるならば、情報伝達のためのシナプスが切れていたり、活性化されていない部分があったり、間違った情報が伝達されているようでは、このチーム脳的能力を存分に発揮できません。したがって、情報の流通と状態をきちんとコントロールすることが、チームの知的生産性の向上には不可欠です。現在は、特に研究室などの知的活動コミュニティで扱われるファイルやメール、Web コンテンツ等を対象に研究を進めています。

■ コミュニティ情報空間ガバナンス実現のためのソフトウェア InfoSpace Governor の開発

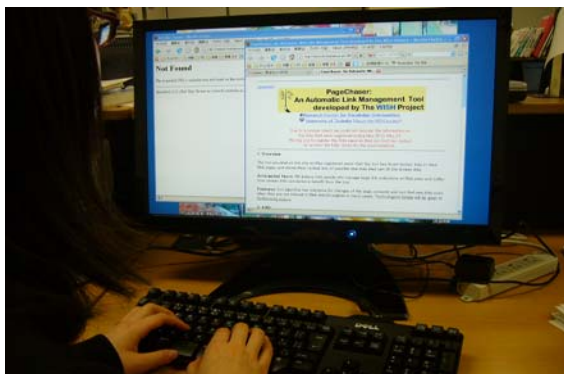


InfoSpace Governor が対象とする情報空間

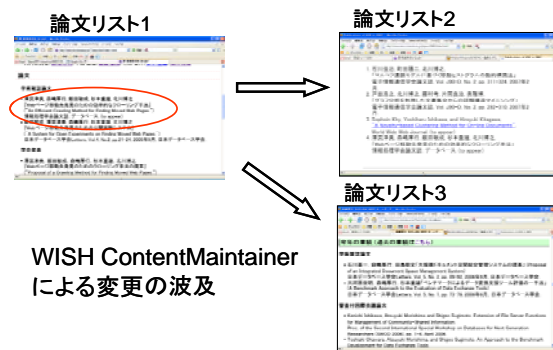


情報空間の視覚化ツール InfoSpace Maps

■ Web 情報空間ガバナンスの実現のためのソフトウェア WISH Tools の開発



Web ページ移動先自動発見システム
WISH PageChaser



WISH ContentMaintainer
による変更の波及

分散管理された Web コンテンツの
一貫性維持システム WISH ContentMaintainer